

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ・ニューグローバルファンド〈毎月分配タイプ〉」は、2021年1月15日をもちまして繰上償還いたしました。当ファンドは主として高格付けの世界主要国（日本除く）の国債および新成長国の株式への投資を通じて、安定した収益の確保を図るとともに、信託財産の中長期的な成長を目指しました。ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

償還価額（当作成期末）	8,317円05銭
純資産総額（当作成期末）	227百万円
騰落率（当作成期）	3.5%
分配金合計（当作成期）	10円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

交付運用報告書 繰上償還

パインブリッジ・ ニューグローバル ファンド 〈毎月分配タイプ〉 〈愛称：メインアベニュー〉

追加型投信／海外／資産複合

第28作成期

(2020年11月18日～2021年1月15日)

第162期（決算日：2020年12月17日）

第163期（償還日：2021年1月15日）

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈お問い合わせ先〉ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

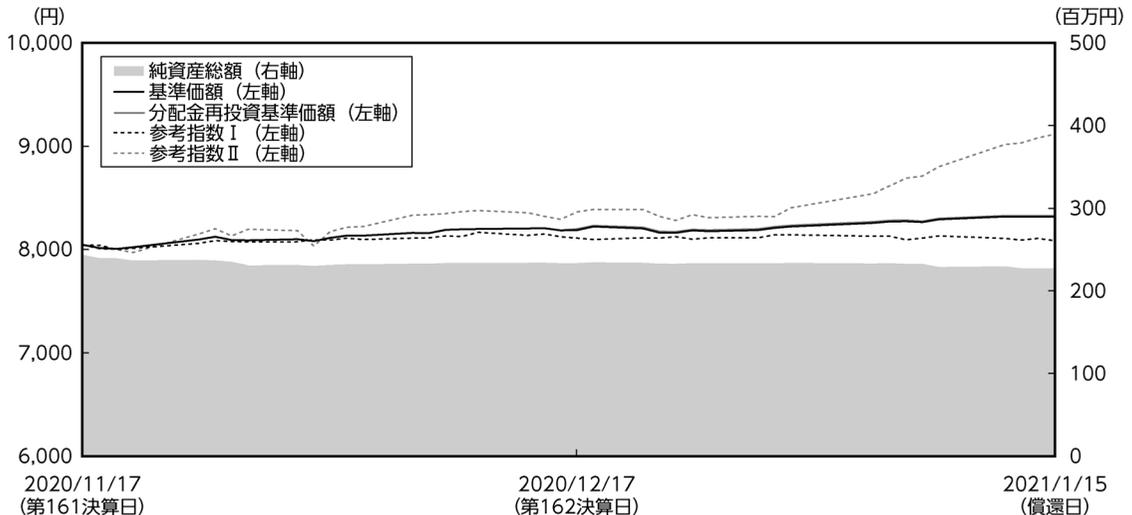
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2020年11月18日～2021年1月15日)

基準価額等の推移



第162期首： 8,042円
償還日： 8,317円05銭
(作成対象期間中の既払分配金：10円)
騰落率： 3.5% (分配金再投資ベース)

- ※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
- ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※参考指数 I はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、参考指数 II はMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」が上昇したことが主なプラス要因となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

債券市場では、先進国金利は前作成期末比金利上昇となりました。為替市場では、財政政策への期待や株高を背景としたリスクオフセンチメントの巻き戻しを主因に米国ドルと円が最も弱含む展開となりました。以上から米国ドル円は前作成期末比ではおおむね横ばい圏内、ユーロ円は前作成期末比では上昇しました。当ファンドの基準価額は前作成期末比で上昇しました。

<パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ>

主要国で新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことに伴い経済活動が徐々に正常化に向かうとの期待感や、米国での追加景気対策への期待感などを背景に市場のリスク選好姿勢が継続し、新成長国株式市場は上昇しました。また、当ファンドで保有する新成長国通貨が円に対して上昇したこともプラス要因となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第162期～第163期 (2020.11.18～2021.1.15)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	19円	0.231%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,160円です。
(投信会社)	(9)	(0.112)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(9)	(0.107)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.014	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.014)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	1	0.010	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.010)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0.032	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合計	24円	0.287%	

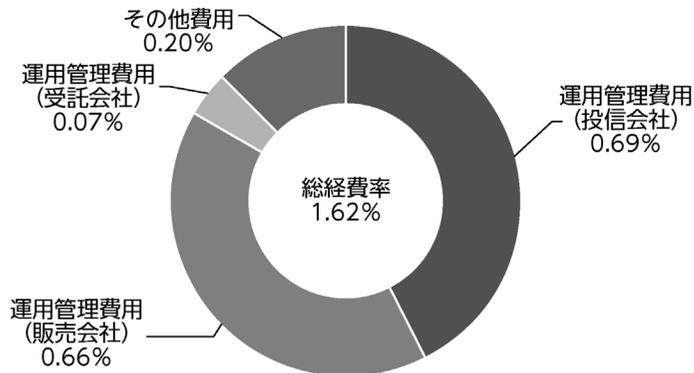
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.62%です。



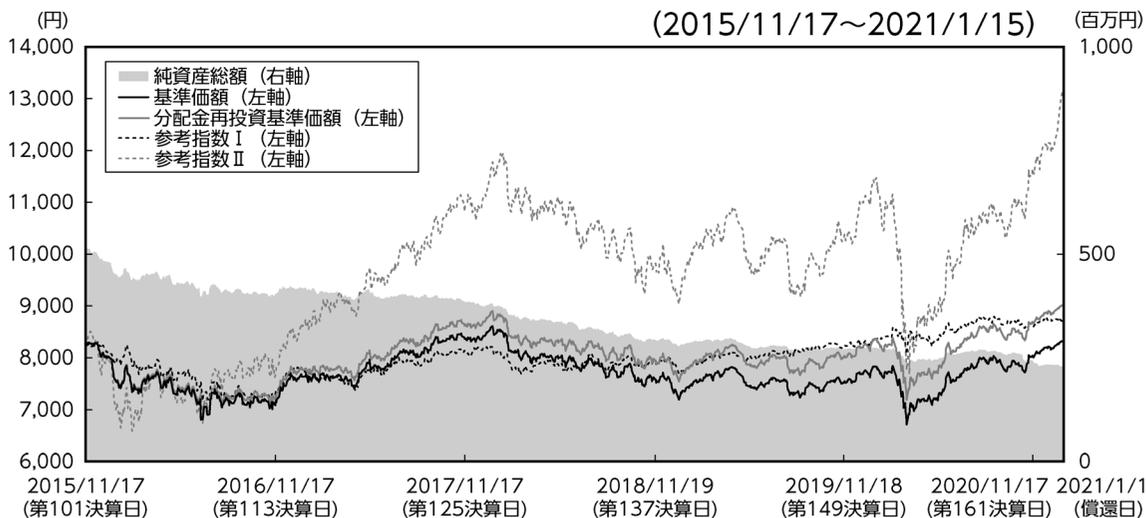
※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年11月17日の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数ⅠはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、参考指数ⅡはMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。2015年11月17日の基準価額をもとに指数化しています。

	2015/11/17 決算日	2016/11/17 決算日	2017/11/17 決算日	2018/11/19 決算日	2019/11/18 決算日	2020/11/17 決算日	2021/1/15 償還日
基準価額 (円)	8,239	7,138	8,378	7,584	7,530	8,042	8,317.05
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120	10
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△11.9	19.2	△8.1	0.9	8.5	3.5
参考指数Ⅰの騰落率 (%)	—	△10.4	9.8	△2.7	4.3	5.2	0.6
参考指数Ⅱの騰落率 (%)	—	△5.1	39.9	△10.2	5.1	12.8	13.3
純資産総額 (百万円)	509	401	385	292	270	243	227

※参考指数ⅠはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、参考指数ⅡはMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

※2021/1/15償還日の騰落率は、2020/11/17との比較を表示しています。

●参考指数に関して

参考指数ⅠのFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCが算出および公表する世界主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。参考指数ⅡのMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）は、MSCI Inc.が開発したエマージング諸国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

投資環境について

作成期首より財政政策への期待、株高、インフレ期待上昇、QE拡大がなかったFOMC（米連邦公開市場委員会）等を背景に上昇し、前作成期末比では金利上昇となりました。

新成長国株式市場は、12月までは米国の追加景気対策成立への不透明感などがあったものの、新型コロナウイルススワクチンの一般利用化拡大への期待などを背景に緩やかな上昇基調となりました。また、1月に入り、米国で民主党が大統領と上下院で過半数を占める「トリプルブルー」が確定したことでバイデン政権による更なる追加景気対策への期待が高まったことや、主要国での新型コロナウイルススワクチンの接種拡大に伴う経済活動正常化への期待感などを背景に急上昇しました。

米国ドルは、FRB（米連邦準備制度理事会）が市場に米国ドルを大量に供給していることや、米国の実質金利がマイナスとなっていることなどを背景に緩やかな円高米国ドル安基調となる中、1月に入り日本の一部の地域で緊急事態宣言が要請されたことでリスク回避的な動きから円が急伸し、一時102円台を付けました。その後は円が売られ前作成期末比ではほぼ変わらずとなりました。新成長国通貨は、経済活動正常化期待の高まりなどを背景に概ね円安新成長国通貨高となりました。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2021年1月15日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

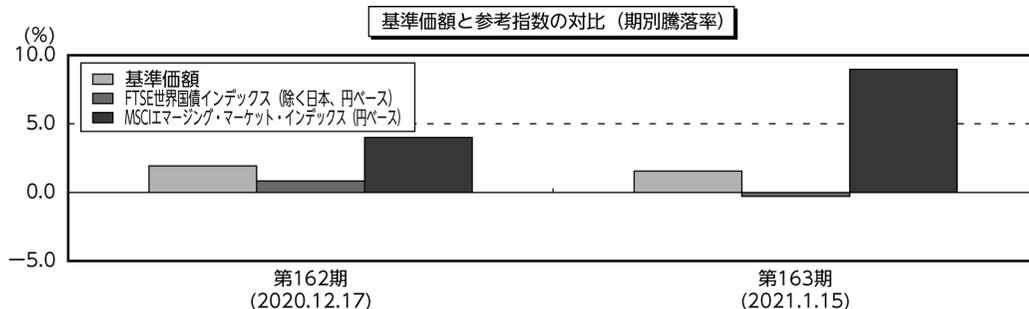
当ファンドは、基本通貨配分（環太平洋圏；米国ドル25%、オーストラリア・ドル15%、カナダ・ドル10%、欧州圏；ユーロ30%、英国ポンド10%、スウェーデン・クローナ10%）に沿ったアロケーションを維持しました。また、通貨のポートフォリオの残存年限別構成においては、直利、終利の両面からバランスのとれたウエイト配分としました。

<パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ>

当ファンドは、中長期的に高い成長が期待できる企業の中から割安な銘柄を選択して投資を行い、作成期中組入比率を高位に維持しました。また、投資対象を国、業種に幅広く分散しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、作成期中に受取りました利子・配当等収益を中心に、第162期10円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項 目	第162期
	2020年11月18日～2020年12月17日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.122
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,071

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

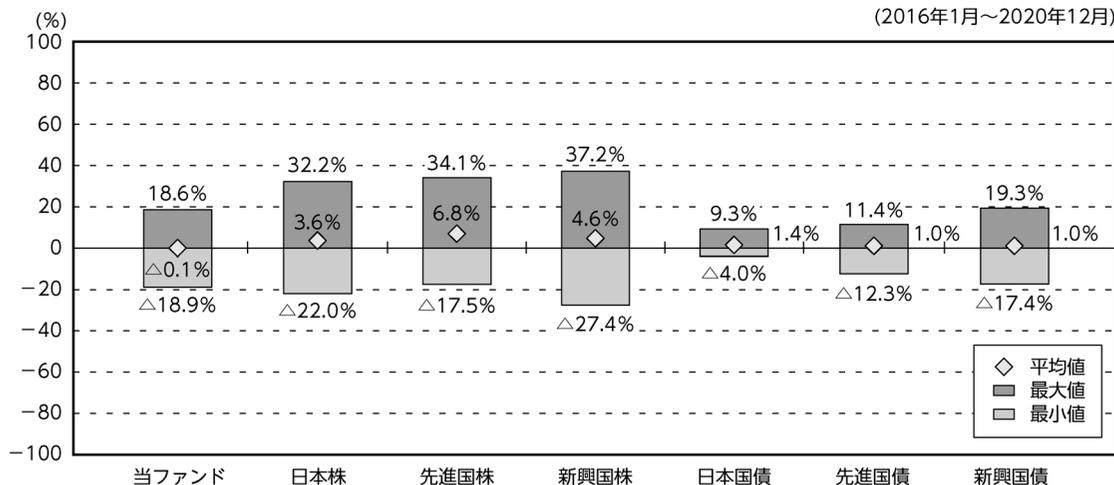
お知らせ

繰上償還につきまして、2020年10月21日から2020年11月30日までの間に異議申立ての受付を行った結果、異議申立てを行った受益者の受益権の合計口数が、2020年10月21日現在の受益権総口数の2分の1を超えるには至りませんでしたので、2021年1月15日付で信託終了（繰上償還）を実施することといたしました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2007年6月7日から2021年1月15日まで（当初、原則として無期限）	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」および「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」を通じて、高格付けの世界主要国（日本除く）の国債および新成長国の株式への投資を行い、安定した収益の確保を図るとともに、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ・「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用の指図に関する権限を委託します。 ・先進国の国債市場に70%程度、新成長国の株式市場に30%程度投資することを基本資産配分とします。 	
主要投資対象	パインブリッジ・ニューグローバルファンド（毎月分配タイプ）	「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」および「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」の受益証券を主要投資対象とします。
	パインブリッジ先進国債券マザーファンド	世界各国の国債を主要投資対象とします。
	パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ	世界の新成長国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	パインブリッジ・ニューグローバルファンド（毎月分配タイプ）	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、信託財産の純資産総額の50%未満とします。 ・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ先進国債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月1回（原則として17日）決算を行い、利子・配当等収益および売買益を中心に、基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2016年1月～2020年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年1月15日現在）

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

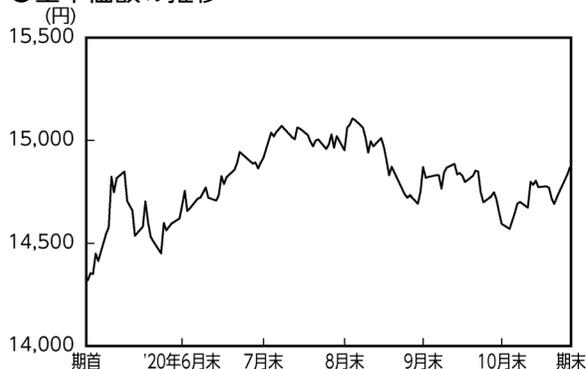
項 目	第162期末	第163期末
	2020年12月17日	2021年1月15日
純資産総額	233,222,739円	227,174,257円
受益権総口数	284,831,288口	273,142,837口
1万口当たり基準価額	8,188円	—
1万口当たり償還価額	—	8,317円05銭

※当作成期間（第162期～第163期）中における追加設定元本額は6,984円、同解約元本額は29,452,532円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ先進国債券マザーファンドの組入資産の内容（2020年11月25日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
その他費用	2円
(保管費用)	(2)
(その他)	(0)
合計	2円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入銘柄

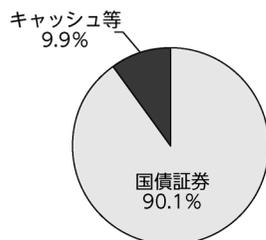
（組入銘柄数：9銘柄）

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	21.6
FRANCE GOVERNMENT	国債証券	フランス	ユーロ	15.5
BUNDESREPUB.DEUTSCHLAND	国債証券	ドイツ	ユーロ	11.4
UK TREASURY	国債証券	イギリス	英国ポンド	9.2
SWEDISH GOVERNMENT	国債証券	スウェーデン	スウェーデン・クローナ	9.1
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	カナダ	カナダ・ドル	9.0
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	8.6
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	4.9
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	0.9

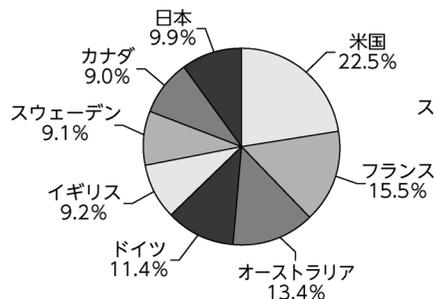
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

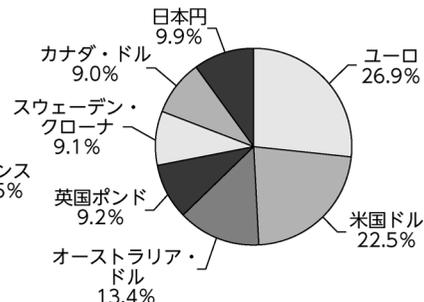
●資産別配分



●国別配分



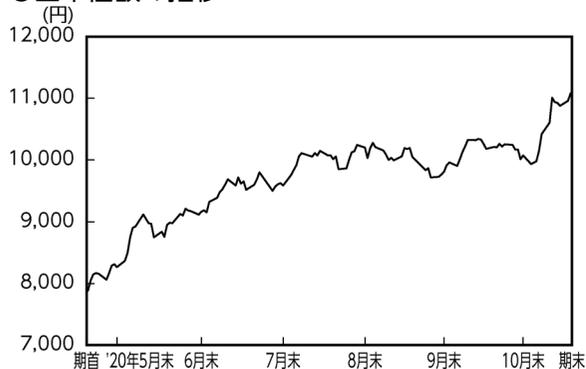
●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡの組入資産の内容（2020年11月17日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	19円
(株式)	(19)
有価証券取引税	7
(株式)	(7)
その他費用	49
(保管費用)	(49)
(その他)	(0)
合計	75円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものであります。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

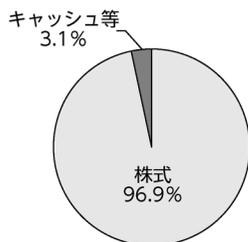
（組入銘柄数：36銘柄）

銘柄名	業種	国	通貨	比率(%)
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	小売	ケイマン	中国人民幣	5.5
SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	韓国	韓国ウォン	5.1
YUM CHINA HOLDINGS INC	消費者サービス	米国	中国人民幣	4.4
LOCALIZA RENT A CAR	運輸	ブラジル	ブラジル・レアル	4.3
MEDIATEK INC	半導体・半導体製造装置	台湾	台湾ドル	4.1
RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インド	インド・ルピー	4.1
MEITUAN-B	小売	ケイマン	香港ドル	3.9
HINDUSTAN UNILEVER LTD	家庭用品・パーソナル用品	インド	インド・ルピー	3.8
LG CHEM LTD	素材	韓国	韓国ウォン	3.7
CHALEASE HOLDING CO LTD	各種金融	ケイマン	台湾ドル	3.6

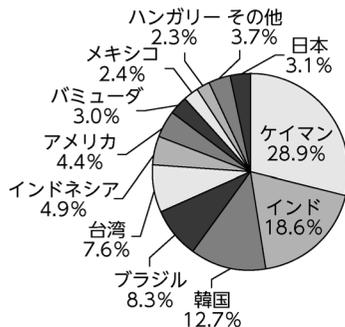
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

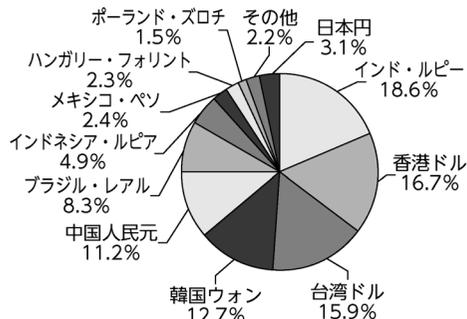
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。